



真宗トークの活用の手引き



ツールの概要

「真宗トーク」は、対話コミュニケーションのためのカードツールです。同朋の会をはじめとした、お寺での諸行事における、座談のきっかけになることを願い作成しました。

シンプルなツールですが、参加者間の対等性や傾聴の姿勢をルールに組み込み、体験する方々の関係性が自然に深まるように設計しています。聞き合う場づくりにご活用ください。

内容物

お題カード：15枚（①アイスブレイク、②自己と他者、③人生 各5枚）

感想カード：20枚（5種類×4名分）

簡易説明カード：1枚

人数・時間など

使用人数：3～4名

所要時間：30～40分程度（より短い時間や長い時間でも使用可能）

事前準備

- ・3種類のお題カードを分け、それぞれよく切ってから場の中央に置きます。
- ・参加者の方お一人につき5種類の感想カードを配り、手元に並べてもらいます。
- ・スマートフォンの時計機能、キッチンタイマー、砂時計など、時間を計れるものを用意します。
(アラーム音の場合、刺激的すぎず、音量が大きくないものをおすすめします)

トークの進め方

① お題カードを引く

じゃんけんなどで順番を決め、交代でお題カードを引きます。1枚目は初対面でも話しやすいお題を集めた「アイスブレイク」から引くのがおすすめです。カードを引いた方が、お題と説明文を読み上げます。

② 1分間のトークを行う

話す準備ができた方から、お題についての1分間のトークを行います。もしトークが早めに終了してしまった場合は、聴き手の方々から簡単な質問をしてください。

③ 感想カードを使って感想を伝える

聴き手だった方々が、今の自分の思いにもっとも近い感想カードをそれぞれ1枚選んで、「なぜそのカードを選んだのか」を話し手だった方に伝えます。

④ 次の方がトークを行う

話し手を交代して、次に話す準備ができた方がまた1分間のトークを行い、終了後に聴き手だった方々が感想を伝えます。このように、全員が1つのお題カードについてのトークを終えたら、次のお題カードを引きます（①に戻ります）。約30分間で、3つ程度のお題について対話をすることができます。